

新入生アンケートに見る平成19年度 入学生の特徴および6年前との比較

櫻本 逸男*¹ 廣林 早苗*² 藤原 東雄*³
重村 哲至*⁴ 国重 徹*⁵

The Characteristics of the Freshmen in 2007 Based on the Results of a Questionnaire ---In Comparison with the Freshmen in 2001---

Itsuo SAKURAMOTO, Sanae HIROBAYASHI, Haruo FUJIWARA,
Tetsuji SHIGEMURA and Toru KUNISHIGE

Abstract

Eight years have passed since the school counselors' office was established at Tokuyama College of Technology in 1999. The office has been supporting the students proactively rather than reactively for five years, putting an emphasis on community work. Six years ago, the office started to use a questionnaire to the freshmen inquiring about their worries, motivation to study and so on as a means of the proactive support. The office used the same questionnaire in April this year for the seventh time so as to help the freshmen to adapt themselves to the new environment.

This report comparatively analyzes the results of the questionnaire given to the freshmen in 2001 and in 2007 and points out some of their characteristics that should be noted, focusing on three different departments they are in and gender.

Key Words : proactive support, reactive support, adapt, new environment, questionnaire

1. はじめに

徳山高専学生相談室では、平成13年度から「学生相談室プログラム」*の一環として新入生アンケートを実施している。

この新入生アンケートの目的は、中学という義務教育機関を卒業し、高等専門学校という高等教育機関に入学したばかりの学生が、これまでと全く異なる新しい環境にできるだけうまく適応できるように援助するための資料を得ることである。

平成13年から平成18年に引き続き、平成19年4月にも新入生に対して、全く同じ内容のアンケートを実施した。アンケート結果に基づき、入学当初より悩みを抱えている学生及び入寮した新入生全員に対して個別面談を実施した。

本稿は、平成19年度新入生の特徴を明らかにするとともに、平成13年4月に新入生に対して実施したアンケート結果と比較分析し、本校に入学した学生の注意すべき傾向を、学科や性別に焦点を当てて考察するものである。

*1 機械電気工学科

*2 学生課学生係

*3 土木建築工学科

*4 情報電子工学科

*5 一般科目（英語）

※学生相談室プログラムについては、国重、佐々木²⁾や佐々木、国重³⁾に詳しく論じられている

2. 新入生アンケート

新入生アンケートは、鳴澤 (1998)¹⁾ の東京都立大学新入生対象アンケートを徳山高専用に修正し、作成したものである。

アンケートは平成 19 年 4 月の学生相談室オリエンテーションで実施した。実施方法は、学生相談室スタッフがアンケートを配布し、説明を行った後、学生に記入させ、その場で回収した。

アンケートは記名式で、全員に 23 の項目、寮生には 6 項目を追加して尋ねた。

対象は、平成 19 年度一年生 136 人(男子 108 人、女子 28 人；自宅通学生 110 人、寮生 26 人；機械電気工学科生(ME)48 人、情報電子工学科生(IE)43 人、土木建築工学科生(CA)45 人)で、135 人から回収できた。

以下に、アンケートの質問項目と回答を示す。回答はパーセンテージで () 内に示してある。

〈2・1〉 新入生全員に対する質問

1. あなたは自宅から通学していますか、それとも寮生ですか。
自宅通学生(80.6)
寮生(19.4)
2. あなたは中学校時代にクラブ活動に参加していましたか。
はい(97.0) いいえ(3.0)
3. あなたが徳山高専に進学を決定したのはいつですか。
中学 3 年生の頃(61.2)
中学 2 年生の頃(20.9)
中学 1 年生の頃(11.9)
小学生の頃(6.0)
4. 徳山高専はあなたが第一に志望した学校ですか。
はい(85.8) いいえ(14.2)
5. あなたは徳山高専の本当に入りたかった学科に入れましたか。
はい(98.5) いいえ(1.5)
6. あなたが徳山高専に入学した動機は何ですか、次の該当するものすべての記号を○で囲んで下さい。
いいところに就職できる(73.1)
自分の志望に合っている(55.2)
自由な校風だから(47.8)
先生や親にすすめられた(26.1)
先輩・知人がいる(13.4)
兄弟がいる(8.2)

通学の便がいい(6.0)

経済的な理由(6.0)

他に入学するところがなかったから(3.7)

何となく(3.7)

入学しやすい(2.2)

7. あなたは中学校時代に満足のいく学校生活が送れたと思いますか。
とても満足している(50.7)
一応満足している(39.6)
あまり満足していない(9.0)
全く満足していない(0.7)
8. あなたは徳山高専に入学できて満足していますか。
とても満足している(54.5)
一応満足している(42.5)
あまり満足していない(3.0)
全く満足していない(0)
9. あなたが徳山高専に入学した目的は何ですか、次の該当するものすべての記号を○で囲んで下さい。
専門的な技術を身につけるため(80.6)
いいところに就職するため(55.2)
学生生活をエンジョイするため(33.6)
教養を高め人間的に成長するため(33.6)
専攻科や他の大学に進学するため(21.6)
先生や友人と交流するため(11.3)
何とはなしに(3.0)
10. 現在、あなたの勉強への意欲は次のどれですか。
一応意欲がある(53.7)
十分意欲がある(35.8)
あまりない(9.0)
全くない(1.5)
11. あなたは徳山高専での勉強についていけるかどうか不安ですか。
少し不安である(54.5)
とても不安である(39.6)
あまり不安ではない(6.0)
全く不安ではない(0.0)
12. 周りの新入生が自分より勉強面で優れているように思いますか。
強くそう思う(42.5)
少しそう思う(41.0)
あまりそうは思わない(12.7)
全くそうは思わない(3.7)

13. 自分には徳山高専で友人ができないののではないかと心配ですか。
 少し心配である(42.9)
 あまり心配ではない(39.8)
 全く心配ではない(10.5)
 とても心配である(6.8)
14. あなたは徳山高専での学生生活がどのくらい楽しみですか。
 とても楽しみである(56.7)
 少し楽しみである(39.6)
 あまり楽しみではない(3.0)
 全く楽しみではない(0.7)
15. あなたは自分が将来どんな職業につき、どんな人になりたいか、すでに心の中で決めていますか。
 はい(53.7) いいえ(46.3)
16. あなたは中学時代に個人的に打ち明け話をしたり、相談に乗ってもらえるような同性の親友がいましたか。
 はい(79.1) いいえ(20.9)
17. あなたは徳山高専に知り合いの人がいますか。
 はい(84.3) いいえ(15.7)
18. あなたは徳山高専に個人的に打ち明け話をしたり、相談に乗ってもらえるような同性の親友がいますか。
 はい(46.3) いいえ(53.7)
19. あなたはある程度親しくつき合っている異性の友人がいますか。
 はい(38.8) いいえ(61.2)
20. 今までに、反抗して親を手こずらせたことがありますか。
 はい(55.2) いいえ(44.8)
21. 今までに、失敗や挫折をしてすごく悩んだことがありますか。
 はい(56.0) いいえ(43.3) 無回答(0.7)
22. 学生相談室で相談できるとしたら、あなたは次のどのような内容について相談してみたいですか。
 勉強(75.4) 進学(39.6) 就職(38.8)
 徳山高専が自分に合っているか(17.2)
 友人関係(19.4)
 知らなかった人たちとの出会い(17.2)
 恋愛(6.0) 自分の性格(13.4)
 体の健康(7.5) 心の健康(5.2)
 性(0.7) 家庭(1.5)

〈2・2〉 寮生のみに対する質問

24. 寮生活全般に関して不安を感じていますか。
 少し不安である(69.2)
 あまり不安ではない(11.5)
 とても不安である(7.7)
 全く不安ではない(11.5)
25. 家族から離れて一人で生活するので寂しく思えますか。
 あまり寂しくない(42.3)
 全く寂しくない(38.5)
 少し寂しい(19.2)
 とても寂しい(0.0)
26. 寮を出て自宅から通学したいですか。
 全く自宅通学したくない(38.5)
 あまり自宅通学したくない(26.9)
 少し自宅通学したい(34.6)
 是非自宅通学したい(0)
27. 現在、あなたは寮生活に関して学生相談室で相談してみたいような事柄や悩みがありますか。
 はい(3.8) いいえ(96.2)
28. 27. で、「はい」と答えられた方へ、それはどのような事柄や悩みですか。複数回答可。
 その他(0)
 先輩との関係について(100)
 一人暮らしについて(0)
 寮の施設・設備について(0)

3. アンケート結果に見られる主な特徴

〈3・1〉 学科別の新入生の特徴

平成 19 年度新入生の学科別の特徴を調べるため、アンケート結果を学科別に比較した。図 1 から図 21 は、学科ごとの特徴をグラフ化したものである。また、平成 13 年度と比較するため、平成 19 年度の結果と並べた。以下、グラフから特徴を述べる。なお、番号は 2 章と同じ質問番号を示す。

3. 徳山高専に進学を決定したのはいつですか。

ME と比較して、IE と CA は比較的早く徳山高専に進学を決めている割合が多い。また、平成 13 年度と比較しても、比較的早く進学を決める割合が多くなっている。(図 1) 現在行われている体験入学の参加者を中学 1,2 年生にも呼びかける必要があるかもしれない。

4. 徳山高専はあなたが第一に志望した学校ですか。

学科別に大きな変化は見られず、また平成 13

年度と比較しても大きな変化は見られず、80%以上の学生が徳山高専を第1に志望した学校である。(図2)

5. あなたは徳山高専の本当に入りたかった学科に入れましたか。

98%以上の学生が希望した学科に入学している。第2希望の学科より補充していないことから当然の結果ともいえる。(図3)

6. あなたが徳山高専に入学した動機は何ですか、

「いいところに就職できる」は、MEとIEがやや高く、平成13年度と比較してもMEとIEが高くなっている。これらは最近の就職状況を反映していると思われる。(図4)

「経済的な理由」は、各学科とも、また、平成13年度と比較しても経済的な理由で学科を選んではないといえる。(図5)

「先生や親にすすめられた」は、各学科とも、また、平成13年度と比較しても変化無く、75%程度の学生が自分自身で希望学科を選んでいるといえる。(図6)

「自由な校風だから」は、学科間の違いはほとんど無いが、平成13年度と比較すると明らかに増加している。(図7) どのようなところが自由かの判断は分からないが、自由な校風について議論することが必要と思われる。

8. 徳山高専に入学できて満足していますか。

「徳山高専に入学できて満足」は、学科間の違いはほとんど無いが、平成13年度と比較して、「とても満足している」が増加していることは明らかである。(図10)

9. あなたが徳山高専に入学した目的は何ですか

いずれの項目についても、学科間の違いはほとんど無く、平成13年度と比較しても変化は少ない。80%以上の学生は専門的な学問・技術を身につけるために徳山高専に入学したと考えられる。ただ、「学生生活をエンジョイするため」がMEとIEで若干増加している。(図15)

10. 現在、あなたの勉強への意欲は次のどれですか

「十分意欲がある」は、IEが最も高くなっている。また、平成13年度と比較するとやや増加傾向が見られる。(図18) これらは入学した時点の考えであり、入学後どう変化しているかを調査すると面白いかもしれない。

11. あなたは徳山高専での勉強についていけるかどうか不安ですか。

MEは「あまり不安ではない」、「全く不安で

はない」と答えた学生が他学科より多い、しかし、平成13年度と比較すると「とても不安である」、「少し不安である」が3学科とも増加している。このことから、勉強への意欲はあるが、不安を抱えて入学していることが伺える。(図19)

14. あなたは徳山高専での学生生活がどのくらい楽しみですか。

IEの学生は「とても楽しみである」と答えた学生が多い。平成13年度と比較すると「とても楽しみである」、「少し楽しみである」と答えた学生がやや増加している。(図20)

15. あなたは自分が将来どんな職業につき、どんな人になりたいか、すでに心の中で決めていますか

自分が将来どんな職業につき、どんな人になりたいか、すでに心の中で決めている学生は、3学科とも変わらないが、MEとIEは増加しているのに対し、CAはやや減少している。(図21)

<3.2> 男女別の新入生の特徴

平成19年度新入生の男女別の特徴を調べるため、アンケート結果を男女別に比較した。図22から図25は、男女ごとの特徴をグラフ化したものである。また、平成13年度と比較するため、平成19年度の結果と並べた。以下、グラフから特徴を述べる。

10. 現在、あなたの勉強への意欲は次のどれですか。

勉強への意欲は男女ではあまり変わらないが、平成13年度と比較すると、男子は意欲がある学生が増加しているのに対し、女子はやや減少している。(図22)

11. あなたは徳山高専での勉強についていけるかどうか不安ですか。

男子は「あまり不安ではない」、「全く不安ではない」と答えた学生が女子より多い、「とても不安である」、「少し不安である」と答えた学生は90%以上であり、特に、女子は不安を抱えて入学している様子が伺える。(図23)

12. 周りの新入生が自分より勉強面で優れているように思いますか。

「強くそう思う」、「少しそう思う」を合わせると、80%以上の学生が、特に女子は90%の学生が周りの新入生が自分より勉強面で優れているように思っている。(図24)

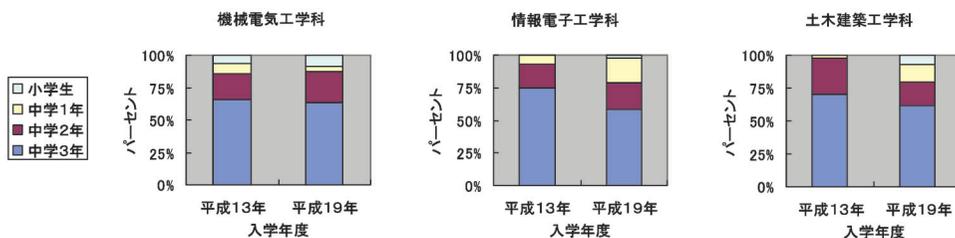


図1 あなたが徳山高専に進学を決定したのはいつですか

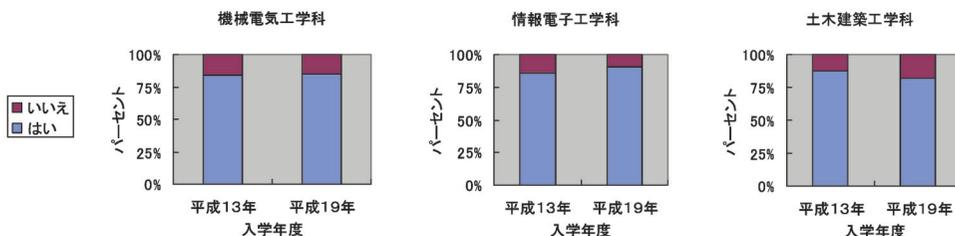


図2 徳山高専はあなたが第一に志望した学校ですか

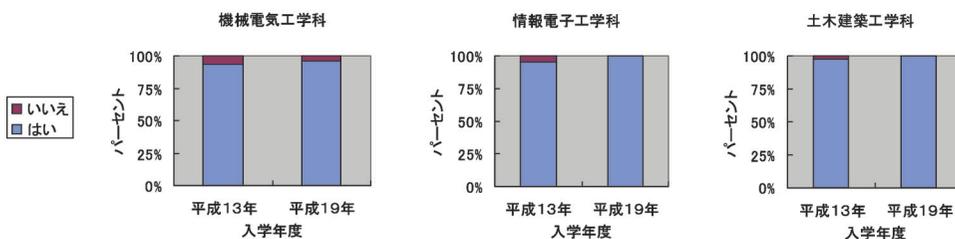


図3 あなたは徳山高専の本当に入りたかった学科に入れましたか

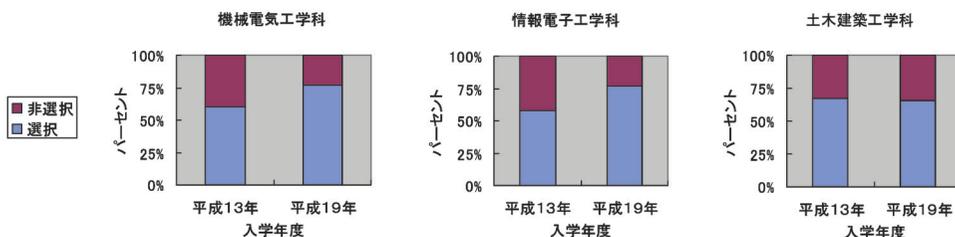


図4 入学の動機(よいところに就職できる)

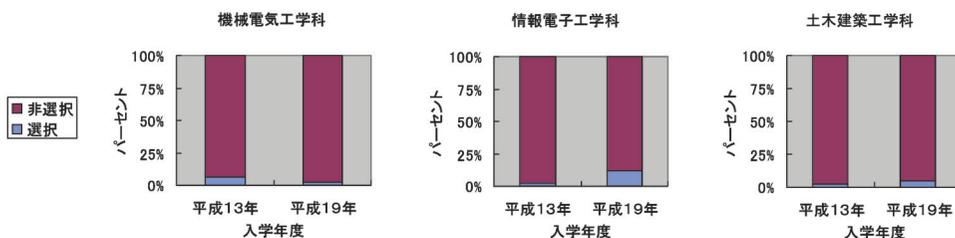


図5 入学の動機(経済的な理由)

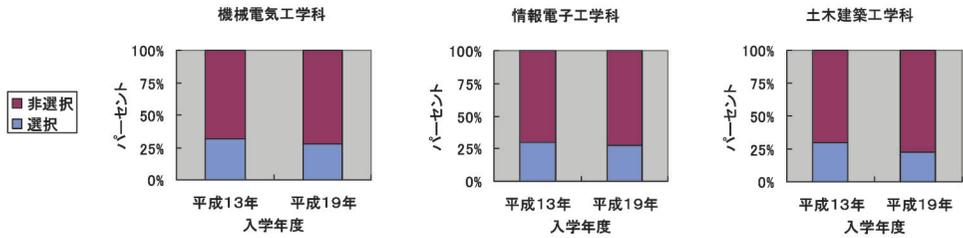


図6 入学の動機(親や先生にすすめられた)

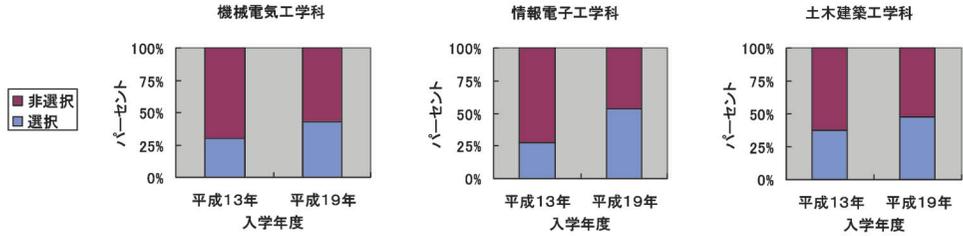


図7 入学の動機(自由な校風だから)

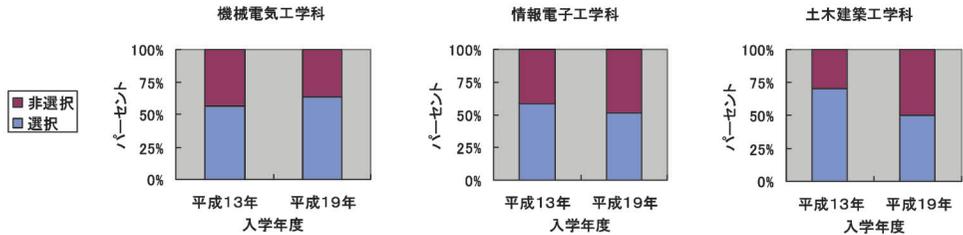


図8 入学の動機(自分の志望に合っている)

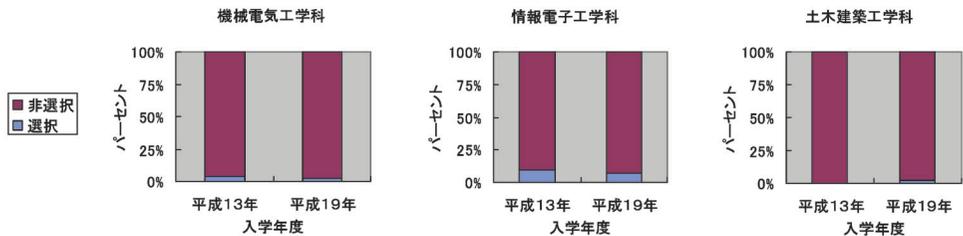


図9 入学の動機(なんとなく)

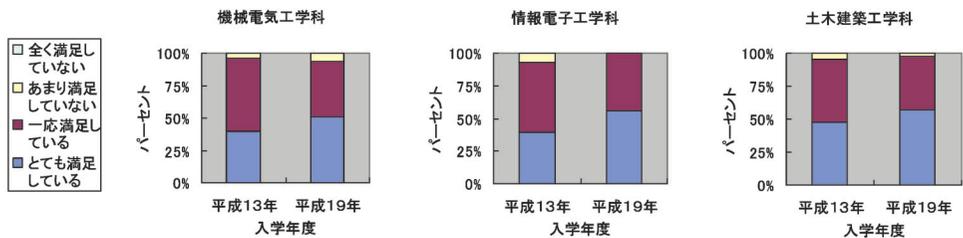


図10 あなたは徳山高専に入学できて満足していますか

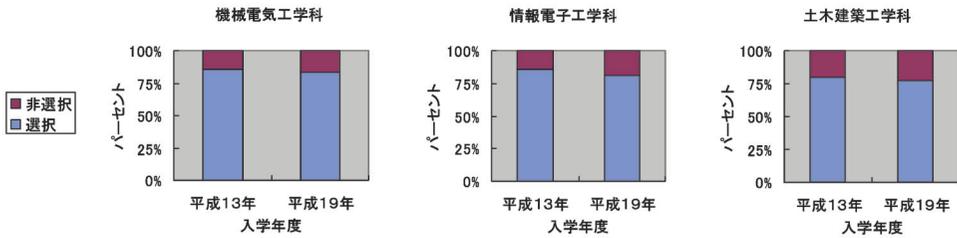


図11 入学の目的(専門的な学問・技術を身につけるため)

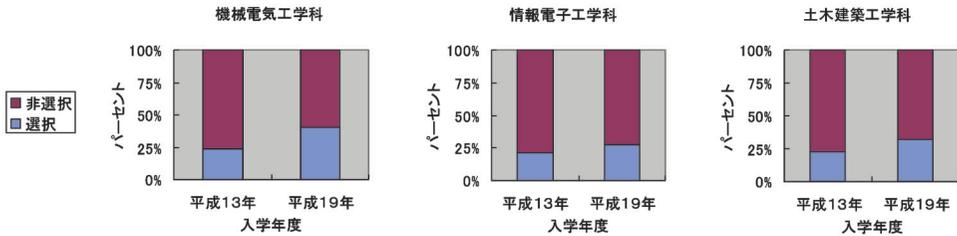


図12 入学の目的(教養を高め人間的に成長するため)

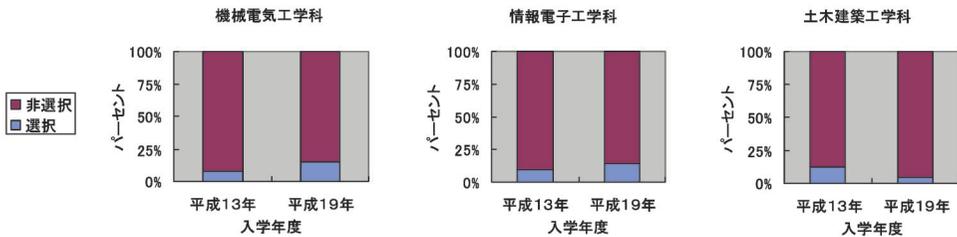


図13 入学の目的(先生や友人と交流するため)

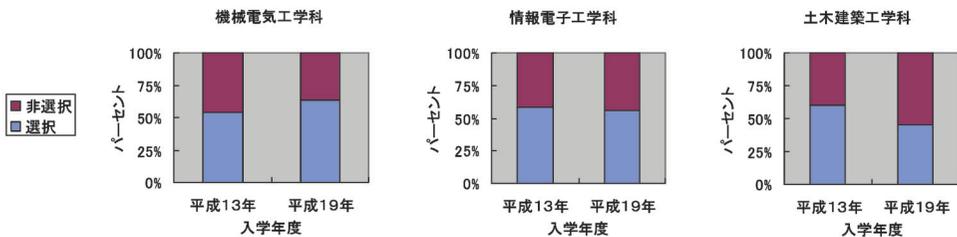


図14 入学の目的(いいところに就職するため)

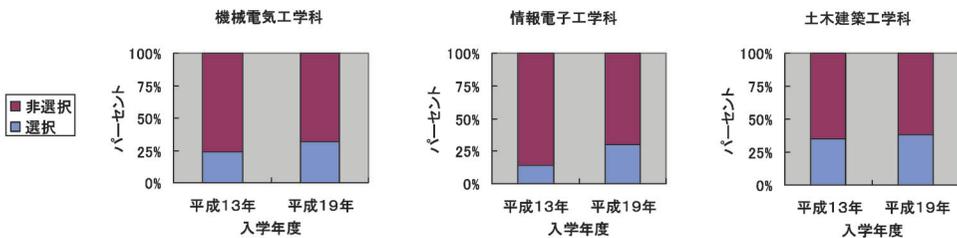


図15 入学の目的(学生生活をエンジョイするため)

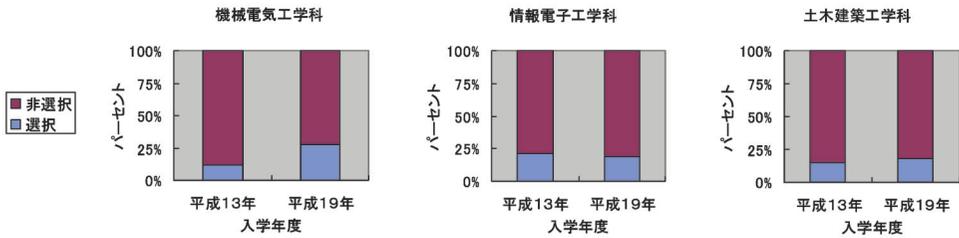


図 16 入学の目的（専攻科や他の大学に進学するため）

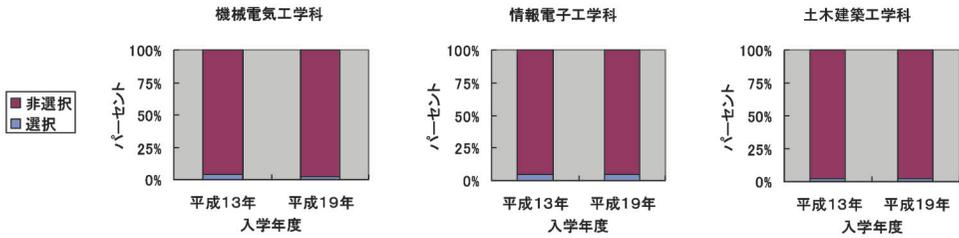


図 17 入学の目的(何とはなしに)

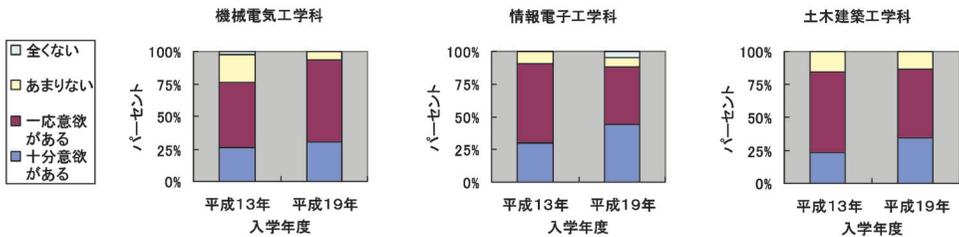


図 18 現在、あなたの勉強の意欲は次のどれですか

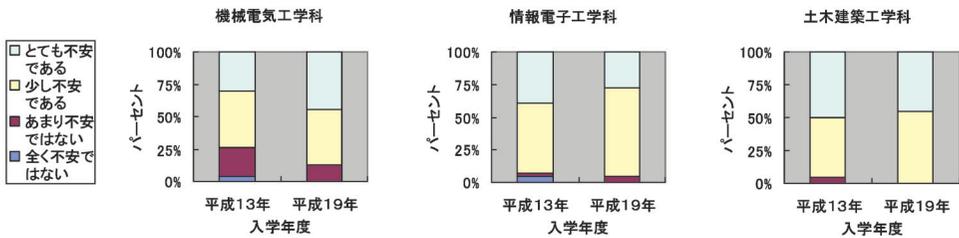


図 19 あなたは徳山高専の勉強についていけるかどうか不安ですか

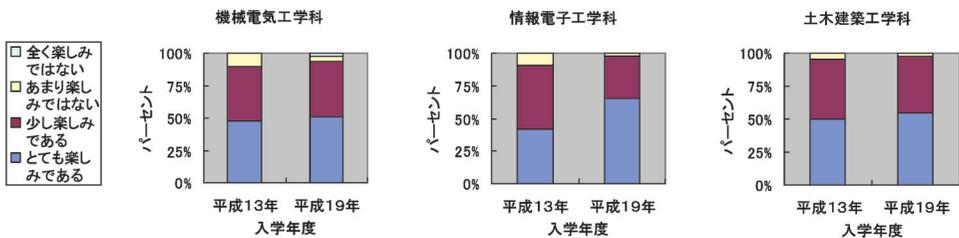


図 20 あなたは徳山高専での学生生活がどのくらい楽しみですか

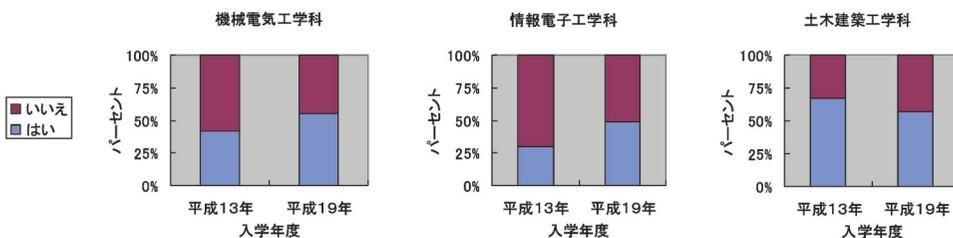


図 21 あなたは自分が将来どんな職業につき、どんな人になりたいか、心の中で決めていますか

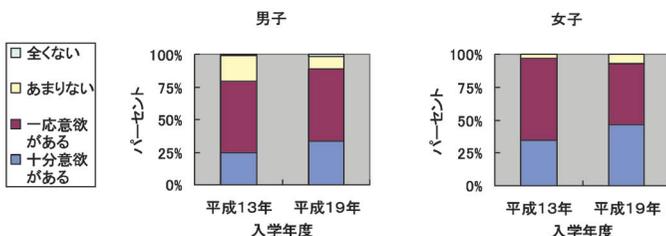


図 22 現在、あなたの勉強への意欲は次のどれですか

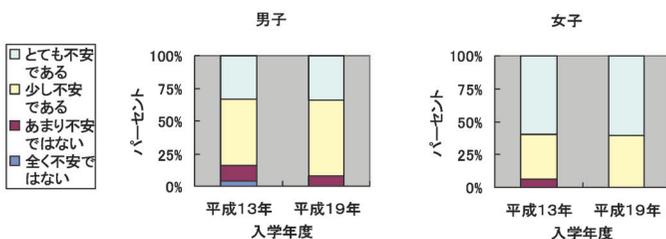


図 23 あなたは徳山高専の勉強についていけるかどうか不安ですか

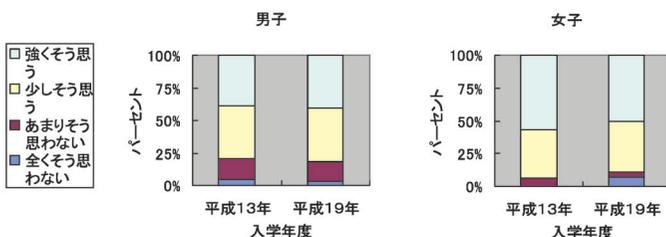


図 24 周りの新入生が自分より勉強面で優れているように思いますか

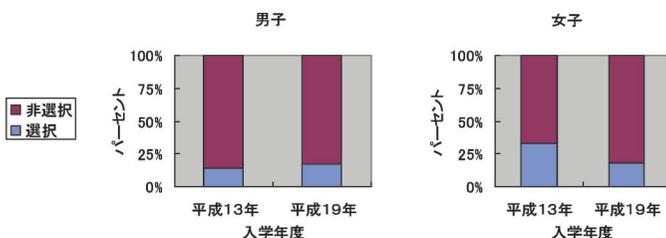


図 25 どのような内容について相談したいですか(徳山高専が自分に合っているかどうか)

4. まとめ

平成 19 年度新入生の特徴を明らかにするとともに、平成 13 年 4 月に新入生に対して実施したアンケート結果と比較分析し、本校に入学した学生の注意すべき傾向を、学科や性別に焦点を当てて考察した。

昨年度の報告では、平成 13 年から平成 18 年度までのアンケートの結果を比較分析した⁴⁾が、それと比較しても、年度が異なるにも関わらず、アンケート結果は極端に大きくは変化しておらず、データとしてみた場合、非常に信頼性が高いものであると思われる。ただし、男女間の比較に関しては、女子の方が学生数が少ないため、年度ごとの差異が出易くなっていることに注意したい。

以下、気付いた点を列挙する。

- 平成 13 年度と比較して、早くから徳山高専に進学を決める割合が多くなっており、その傾向は僅かに I E と C A が多い。
- 本校を第一志望としていた入学生は概ね 8 割以上おり、そのほとんどが希望した学科に入学できている。
- 入学の動機は、“よいところに就職できる”を選んだ学生が、13 年度と比較して、ME と I E で大きく伸びており、最近の就職状況を反映しているといえる。
- 経済的な理由は、ほとんど選択されておらず、むしろ専門技術教育を評価されている。
- 一方、“自由な校風だから”が、13 年度と比較して各学科とも大きく伸びている。自由の捕らえ方が、6 年前と異なっているのかもしれないが、学生の生活面も含め、議論の余地がありそうである。
- 入学の動機については、上級学校への進学よりも就職や自分の志望を目的とする学生が多い。何となくという選択はほとんどないことから、いずれにしても、目的もなしに入学したという学生はいないことがわかる。
- 勉強への意欲については、13 年度と比較し

て、十分意欲があるという回答が、特に女子で増加しており、一応意欲があるという回答を含めると、全体で 90% 程度の学生が意欲があると答えている。

- その一方で、ほとんどの学生が周りの学生が自分より優れていると思っており、特に女子学生が勉強についていけるかどうかの不安を感じている。
- 友人ができないのではないかと不安を感じている学生が 4 割程度いるものの、ほとんどの学生は高専生活に期待を抱いている。しかし、あまり楽しみではないと答えた学生も数人いるので心配である。
- 学生相談室での相談希望事項は、勉強 75%、進路 80% (進学 40%、就職 40%)、交友関係 36% (友人 19%、出会い 17%) と続いており、勉強に関する不安が多いことがわかる。

最後に、これらの分析結果が学生指導の一助になれば幸いである。

参考文献

- 1) 鳴澤:新入生の実態調査、東京都立大学学生相談室レポート、9、PP. 6-42 (1980)
- 2) 国重、佐々木:新入生アンケートを活用した入学時適応援助の方策について、論文集「高専教育」、第 25 号、PP. 455-460 (2002)
- 3) 佐々木、国重:高専における学生相談の具体的な活用策——心理検査を利用したキャリア・ガイダンスの試み——、論文集「高専教育」、第 25 号、PP. 461-466 (2002)
- 4) 櫻本、松尾、国重、原田、日南住:新入生アンケートに見る平成 18 年度入学生の特徴および過去 6 年間の結果分析、徳山高専研究紀要、第 30 号、PP.1-12(2006)

(2007. 9. 受理)